

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	同種造血幹細胞移植患者における GRFS(GVHD-free, relapse-free survival)の後方視的検討
	研究目的	近年、血液悪性疾患に対して同種造血幹細胞移植を受けた患者の GRFS (GVHD-free, relapse-free survival)が報告された。GRFS は従来の全生存率や無病発生存率に加えて、急性 GVHD や治療を有する慢性 GVHD をイベントとすることで、移植を受けた患者の QOL(Quality of Life)を反映した新しいエンドポイントとして注目されつつある。しかしながら本邦では GRFS についての報告はいまだない。今回横浜市大グループにおいて GRFS を評価することで日本人においても GRFS が有用であるかを検討し明らかにする。
	研究期間	2016年5月26日から2017年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市大センター病院(本橋賢治)